

令和6年度 学校だより 学校教育目標 自主 責任 明朗



開校45年目

六中だより 3月号



学校の花 マリーゴールド
花言葉「健康」

〒352-0023 埼玉県新座市堀ノ内3-11-1

TEL 048-478-2764 FAX 048-482-0136

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/j-dairoku> 全生徒数:702名



この一年

——「上級生を見習おう」と言える学校に

校長 影山 葉子

「最後の…」という枕詞を付けて、3年生の活動が毎日のようにやってくる時期になりました。先日は、3年生にとって「最後の授業」「最後の昼休み」「最後の清掃」がありました。そして、3月に入ると、「最後の給食」があり、「最後の学活」をする日もやって来ます。それは、卒業式の日です。いよいよ、3年生がこの第六中を巣立ち、その後、1、2年生も進級をすることになります。

こんな風に、学校も学年末を迎え、1年間が終わろうとしています。そこで、振り返って考えたいのは、この第六中の成長です。私がこの1年で、六中生に伝え続けてきたのは、「上級生を見習おうと言える学校にしよう」ということでした。それは、実現できたでしょうか。

一番評価したいのは、3年生の頑張りです。3年生の皆さんは、最上級生として、見事に第六中をリードしてきました。日常生活の中ではもちろん、各行事においても、その活躍は見事なものでした。そして、今は、自身の進路決定に向けて、着実に歩みを進めています。私はこの1年、こんなに素晴らしい3年生が、第六中を支えてきたことを誇りに思っています。3年生のおかげで、この第六中が「上級生を見習おうと言える学校」に

近づけた、と思っています。

そして、そんな3年生の背中を追って、2年生、1年生も、この1年でたくさんの経験をして、いわゆる学習だけではない、人として必要な学びも深めて、大きく成長することができたのではないのでしょうか。

これは、六中生自身が頑張ったことはもちろんのこと、教職員の努力、そして保護者と地域の皆様の御支援があったからこそ、と実感しております。この1年、誠にありがとうございました。

第六中はこれからも、「上級生を見習おうと言える学校」を目指して進んでいきます。

池の名前です！「六池オアシス in けやきのこもり」

1学期末に実施した、前庭の池の清掃ボランティア活動をきっかけに、もっと池に親しみをもとうと、池の名付けを募集しました。その結果、標題にあるような、素敵な名前に決まりました。

名前は、応募した生徒が提案したそれぞれの名前を生かしたものです。なお、「けやきのこもり」とは、六中の木であるけやきの木の下に池があることから、「小さな森」と「子供たちを見守る」という意味をかけたものです。

近々、PTAさんの御支援により、名前の看板も設置しますので、楽しみにしてください。

